

木造阿弥陀如来坐像 1 軀

木造阿弥陀如来坐像

もくぞうあみだによらいざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

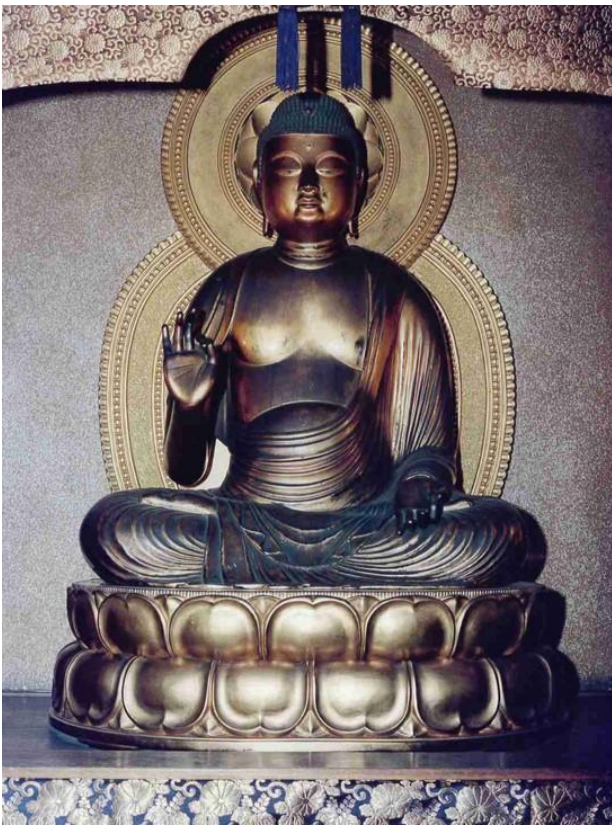
所有者

宗教法人 成道寺(じょうどうじ)

所在地

大阪市天王寺区餌差町 11-1

紹介



木造阿弥陀如来坐像(成道寺)

大坂城の築城とともに営まれた浄土宗の寺町寺院に伝来する阿弥陀如来像。像高 93.0 センチメートルの来迎印(らいごういん)を結ぶ等身大の彫眼像(ちょうがんぞう)で、制作年代は平安時代後期の 12 世紀にさかのぼると考えられる。市域に伝来する優れた中世の彫刻のひとつである。